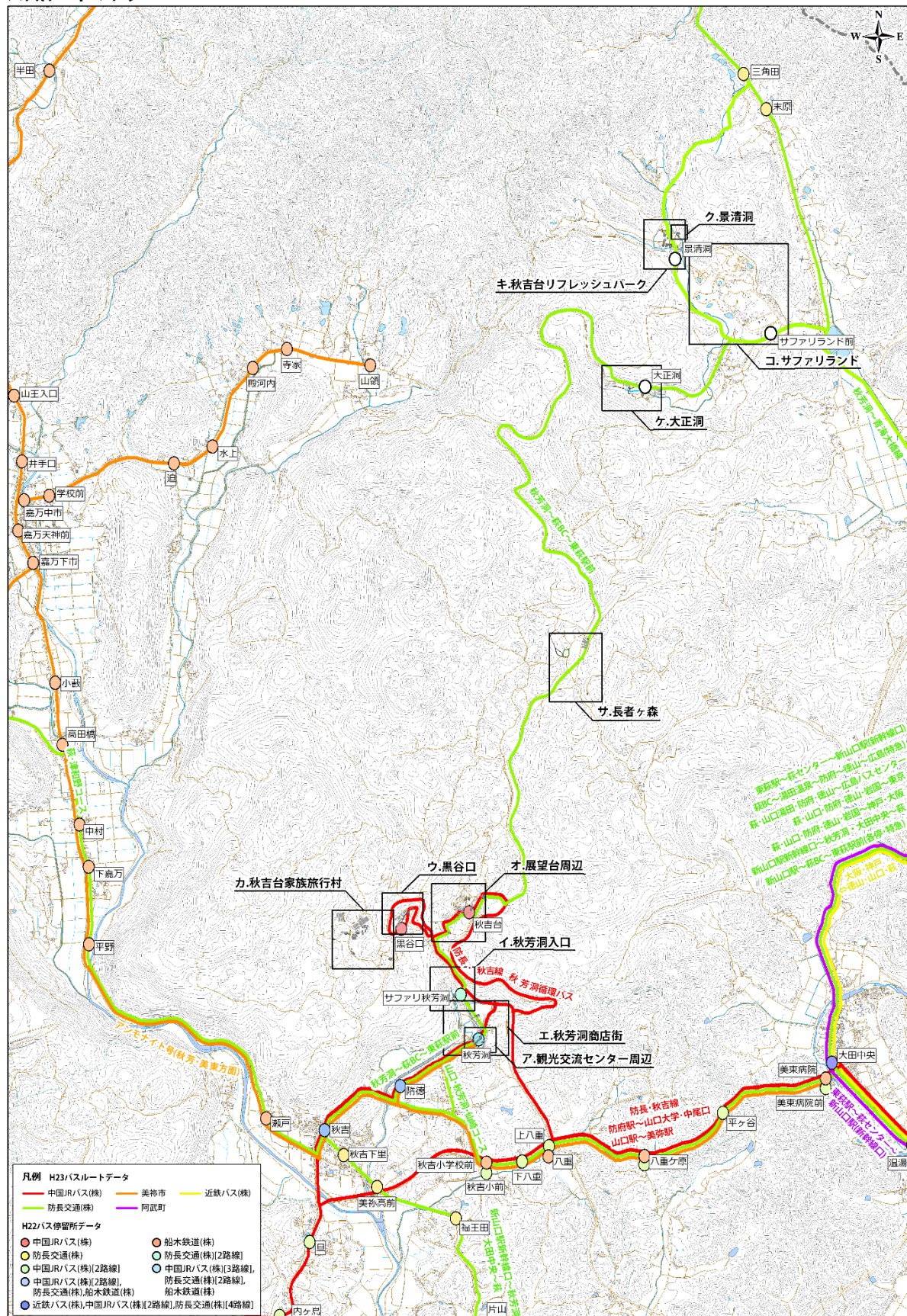


7. 路線バスルート

国土交通省 GIS データ、美祢市公共交通時刻表に記載されている資料をもとにした、公共交通における路線バスのルートマップを以下に示す。

バスルートマップ



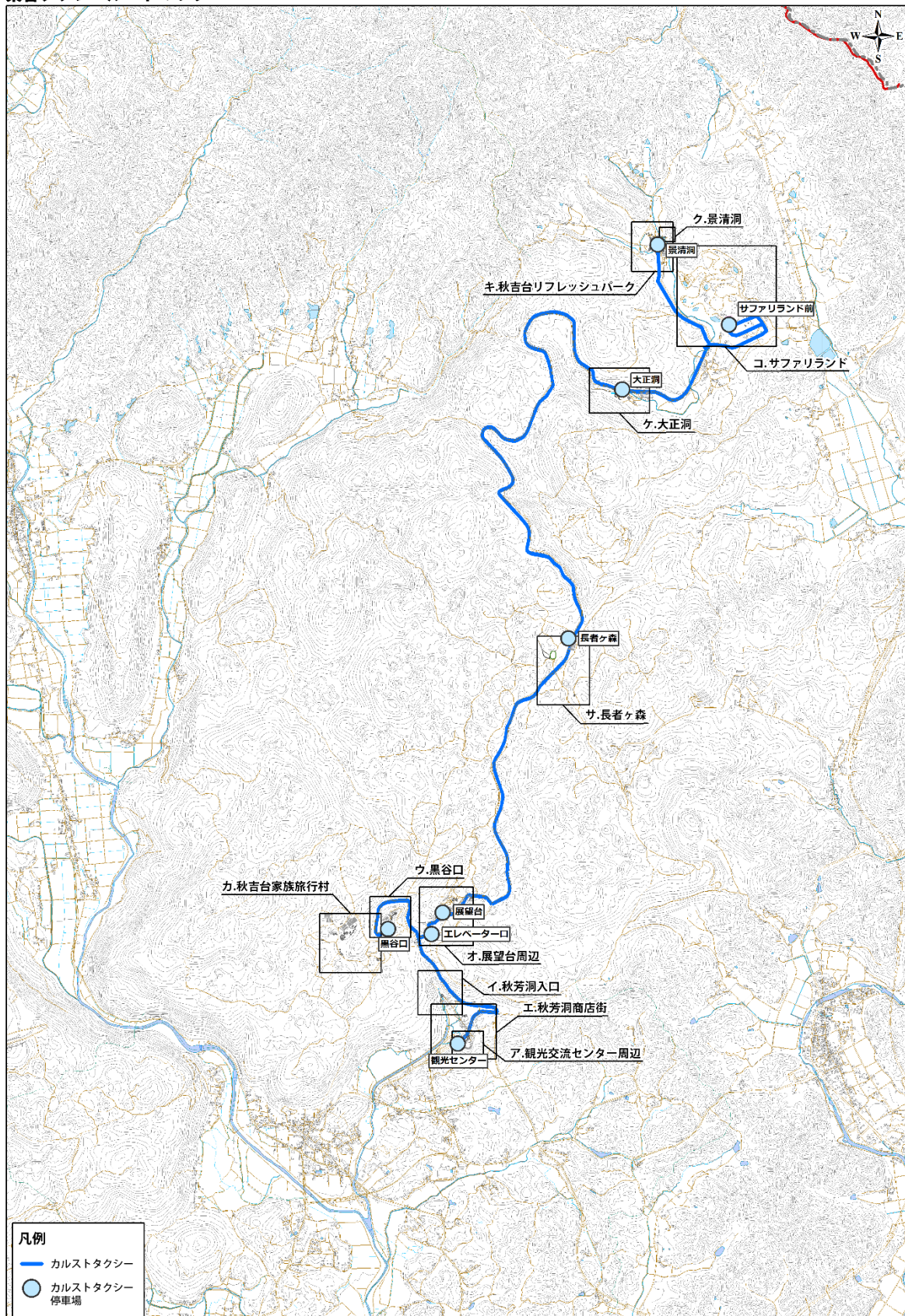
出典：国土交通省GISデータ

1:30,000

8. 乗合いタクシールート

(一社) 美祢市観光協会発刊の「かるすとタクシー」停留所マップに記載されている資料をもとにした、乗り合いタクシーのルートマップを以下に示す。冬季を除く平日のみ、

乗合タクシールートマップ



(4) 施設情報シートの作成

1. 施設情報シートの概要

1-1. 目的

本計画の対象施設について、以下に挙げる事項を目的とし、「施設情報シート」を作成した。

- ・**データベース構築**：市の保有資産を最適に管理・運用し、観光振興を含む一連の施策を行う上での基本的なデータベースを作る。
- ・**実態把握**：全施設に対し、敷地や建築物の基礎情報、利用状況や経済収支等のソフト的状況、建築年数や老朽化調査等のハード的状況等の情報を記載し、正確に実態を把握する。
- ・**評価分析と整備方針策定**：観光振興に関わるソフト・ハード評価を定め、横並びで全施設を評価し、ポートフォリオ分析※を行う。分析内容をもとに、施設利活用の方向性を定める施設整備方針を検討する。

※ポートフォリオ分析…製品やサービスのマーケティング戦略策定で用いられる分析手法。複数の対象に対して、関連する重要な2軸を設定し、交差軸周囲の4象限への配置を行い、傾向が近い対象をグループ化する。グループごとの傾向に合わせ最適な戦略を決定する。

1-2. 記載内容

施設情報シートの記載内容について、以下に記す。

■A：施設・棟番号と名称

施設番号、施設名称、棟番号、棟名称を記載する。1施設につき複数棟がある場合は、施設番号・名称は共通とし、棟番号・名称を追加していく。

■B：施設情報

施設（建物）の基本情報を把握する。地区（A～サまで設定）、施設住所、主要用途、施設概要、築年数、建築情報、構造種別、外部仕様、昇降機有無、特筆項目、建設費、建物性能、工事履歴を記載する。

■C：土地情報

土地の基本情報を把握する。敷地面積、地形、用途地域（都市計画法）、地種区分（自然公園法）、地目（登記地目）、インフラ状況（上水、下水、ガス、電気、その他）を記載する。

■D：権利関係

土地、建物それぞれの権利関係を把握する。土地所有者、土地所有形式、建物所有者、建物所有形式、土地建物主管課、管理運営者、管理運営方式、管理運営主管課を記載する。

■E：災害危険度

土砂災害、水害、地震の災害危険度を把握する。

■F：施設利用状況

施設の利用状況を把握する。過去4年度分の施設許容人数（分母）、推定利用者数（分子）から、利用率／稼働率を算出し、記載する。

■G：施設利用状況グラフ

Fで算出した、利用率／稼働率を折れ線グラフに表現する。

施設情報シート(1/2)

施設番号		施設名称	
5	秋芳洞	1	秋芳洞案内

施設情報	
施設住所	〒754-0511 山口県美祿市秋芳町秋吉3449-1
主要用途	一般事務所
施設概要	秋芳洞観光案内所、待合所
築年	1970年 3月
築年数※	※2018年時点 48年
建築情報	階数(階) 1 建築面積(m ²) 30.23 延べ面積(m ²) 30.23
構造種別	鉄筋コンクリート構造
屋根形式	陸屋根
外部仕様	主要な防水 シート防水(陸屋根) 主要な外壁 リン吹付 主要な建具 アルミ製
昇降機	無
特筆項目	無
建設費	(平成25年) ¥25,500,000 (平成28年) ¥25,500,000

土地情報		施設利用状況				
敷地面積(m ²)	3,399.88	1120	1127	1128	1129	
地形	面地に急傾斜地	設計許容人数(分母)	238,229	238,229	238,229	238,229
用途地域(都市計画法)	都市計画区域	推定利用者数(分子)	70,406	81,379	86,585	80,458
地種区分(自然公園法)	第2種特別地区	利用率/稼働率(%)	30%	34%	36%	34%
地目(登記地目)	宅地	営業時間	観光バス駐車場(平日×9時～18時、土日×9時～17時)			
インフラ状況	上水 有 下水 有 ガス 有 電気 有	分子経緯	ピーク月入浴者数(正面口) [美祿市観光客数調査(秋芳洞入浴者数)より]			

権利関係		施設利用状況グラフ	
土地所有者	美祿市		
土地所有形式	所有		
建物所有者	美祿市		
建物所有形式	所有		
土地建物主管課	観光総務課		
管理運営者	美祿市		
管理運営方式	直営		
管理運営主管課	観光総務課		

災害危険度	
土砂災害	警戒区域指定
水害	被害想定なし
地震	震害想定なし

■ H：収支（施設毎のバランス）単位：千円

施設別の収支を把握する。過去4年度分の収入、支出、施設原価償却費から収支差額を算出し、記載する。施設原価償却費は財務省減価償却資産の耐用年数表（昭和40年財務省令15号）に基づき、算出する。

■ I：経済的評価

Hで算出した、収支差額を棒グラフで表現する。

■ J：ハード評価

ハード面（主に土地・建物に関する内容）における施設評価をする。老朽化調査、建築年数、災害危険度、耐震性能、バリアフリー性能の5項目で構成し、平均点をハード評価点（50点満点）として記載する。

■ K：ソフト評価

ソフト面（主に使われ方に関する内容）における施設評価をする。経済的評価、利用状況、実態調査、満足度調査の4項目で構成し、平均点をソフト評価点（50点満点）として記載する。

■ L：施設整備方針検討のためのポートフォリオ分析

J、Kで算出した、ハード評価・ソフト評価の指標を組み合わせたポートフォリオ分析を行い、総合判定を

記載する。総合判定は、ハード・ソフト評価の平均点からの高低により、4つの傾向に分類した結果を記載する。

- A)ソフト整備、ハード整備ともに急がない施設
- B)ソフト整備は急がず、ハード整備を急ぐ施設
- C)ソフト整備は急ぎ、ハード整備は急がない施設
- D)ソフト整備、ハード整備ともに急ぐ施設

※元情報出典：

(A~L) 美祢市観光総務課提供

(B) 美祢市観光施設状況調査業務「施設台帳」（平成26年3月）（美祢市観光総務課・株式会社オオバ）

